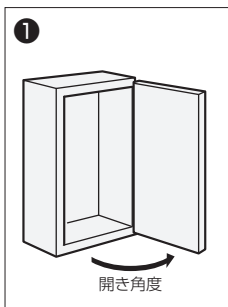


スライド丁番とは

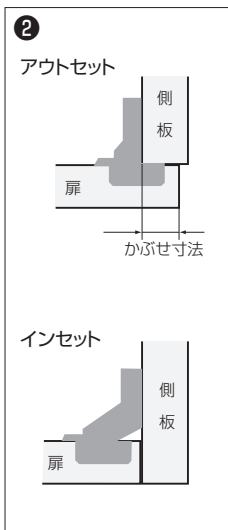


開き角度

スライド丁番は、扉が所定の角度でストップするように設計されています。

開き角度の種類は、90°開きタイプから150°などの広角度タイプまであります。

また、スライド丁番は、他の丁番のように1軸による単純な円運動ではなく、4軸以上による複雑な軌跡を描いて開閉します。もし、同じ扉に開き角度の異なる複数の丁番を使用した場合には、扉が開かないか、丁番に無理な負担が掛かって故障しますので、十分にご注意ください。



扉のかぶせ寸法

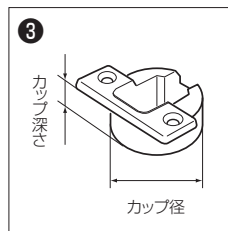
スライド丁番は、基本的にはアウトセット用の丁番です。

スライド丁番には、左図のように、扉の吊元側がキャビネットの側板に対してどの程度かぶさるかによって、「全かぶせ用」（普通18mm前後かぶるタイプ。特殊なもので25～30mmかぶるタイプもあります）や、「半かぶせ用」（全かぶせタイプの半分程度のかぶせ寸法）などがあります。

かぶせ代はカップの取付位置や使用する座金によって変更可能です。

「かぶせ寸法」が異なる丁番を、同じ扉に使用することはできませんのでご注意ください。

また、扉がキャビネットの内側に納まる「インセットタイプ」を揃えたものもあります。

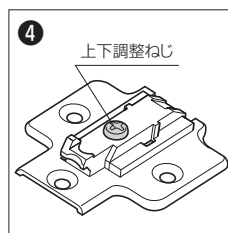


カップの寸法

スライド丁番は、扉側に穴加工をして、カップ部を取付けます。

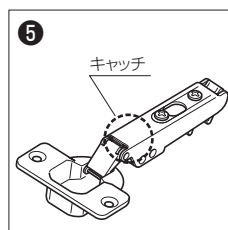
カップ部は円筒形になっていますが、円筒部分の径と深さ寸法は、扉の厚さや縦框の幅と関係があります。

カップ径にはφ40、φ35などの種類があります。カップ深さには、11mm～18mmまで数種類があります。扉の寸法に合ったものをお選びください。



座金

座金はキャビネットの側板に取付けます。扉の位置調整やかぶせ代の増減などができる機能を備えており、様々な要望に応じられるよう多くの種類を揃えています。



キャッチ

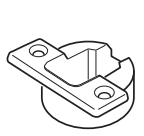
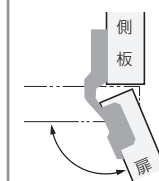
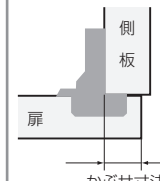
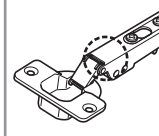
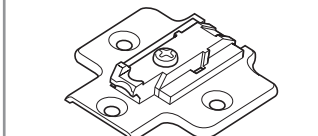
扉が閉まる手前で自動的に扉を閉める力が働く「キャッチ機能」を持ったタイプと、持たないタイプがあります。

品番の見方

スライド丁番には上記のように、カップの種類は何か？ 扉の開き角度は何度か？ 側板に対する扉のかぶせ寸法は何mmか？ キャッチの種類は？ 座金の種類は？ というように多くの選択要素があります。品番はそれらの選択要素とその種類を示しています。

(例)

CRT 100 - 18 - 6 - RBK- 32 - 4H

 カップの種類がCタイプのφ35mmであることを示します。 「R」は着脱機能を有していることを示します。	 最大開き角度が100°であることを示します。	 扉を閉じた状態で扉吊元側が側板木口面に標準で18mmかぶるタイプであることを示します。	 「6」はコンシールドキャッチであることを示します。 「3」はリンクキャッチ、「1」はキャッチ機能のないタイプを示します。	 座金の種類を示します。	扉のかぶせ寸法を、「4H」は4mm少なくすることが可能です。
--	---	--	---	---	---------------------------------------

開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ選具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドワイヤーハスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	